



《2022-2023年度主題》
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン (DNK)
 “Let Your Light Shine” (“輝かそう、あなたの光を”)
 アジア太平洋地域会長 チェン・チ・ミン(TWN)
 “Elegantly Change with New Era”
 東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)
 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
 湘南・沖縄部長 小松 仲史 (厚木)
 「楽しく・元氣よく・前向きに」
 クラブ会長 今城 高之
 「楽しく、なにはさておき楽しく！」

2022-2023 クラブ役員
 会長 今城 高之
 直前会長 辻 剛
 書記 岡田 美和
 会計 横田 孝久

今月の聖句

「神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え、また、あなたがたのために天に蓄えられている、朽ちず、汚れず、しばまない財産を受け継ぐ者としてくださいました。」

I ペト01・3-4

《巻頭メッセージ》 ウクライナの方々への思い 鈴木 恭子



に暖かくなった今年の春は3月半ばに桜が満開、三年間続いたコロナの規制も徐々に解除されています。イースター礼拝も教会で迎えることが出来、感謝の日々を過ごしています。そうした中で私が何時も気掛かりなことは、ロシアのウクライナ侵攻やミャンマーの軍事政権によって抑圧されている市民など、弱い立場に追い込まれている方々のことです。私には何の力もないと諦めかけていた時、つづきクラブのお仲間の大野さんから、「寒いウクライナの方々にマフラーを編んで送りたい」と言う呼びかけがありました。私はその行動力に感動し、すぐお仲間に入れて頂きました。多くの方のご協力があって短期間で沢山の手編みのマフラーなどが集まりましたが、ウクライナ本国へ送る方法が見つかりません。それでは日本に避難されているウクライナの方々に使っていただくということになり、YMCAの支援活動を通して、横浜で私たちの近くに避難されているウクライナの方々にお渡しすることができました。



昨年秋の北YMCAのバザーでは、ウクライナの方々から伝統の人形を手作りしながら販売しておられました。そのお人形は私の手許にもありますが、このようなお人形を作る材料をご提供できないものかとも思っています。手仕事の好きな私の手許には、ハギレや残り毛糸が沢山あるからです。

同じ趣味を持つ方々と一緒に作品を作りたいとは思いますが、私自身ウクライナ語はもとより英語も話せません。でもつづきクラブと親しく交流して頂いている「みんなの家」の方々には、いろいろな活動をしておられ、その中の「ポピーの会」は、中村真知子さんを中心に手仕事が好きで10人ほどのグループが作りたいものの写真や見本を持ち寄り、みんなで教えあひながらの手作りを楽しんでいます。また、同じ仲間の「緑を楽しむ会」は、樹木に深い関心を持ち勉強しておられる中村靖さんが都筑区内に点在する公園を案内して、四季折々の自然の豊かさを説明して下さいました。一昨年の春、今ではもう数が少なくなったキンラン・ギンランの花が雑木林の中に咲いているところへ案内していただきました。また古城跡や由緒あるお寺に茂る古木の説明、秋には松ボックリを拾い、クリスマスリースに使いました。

各々のグループに参加しておられる方々は、心の温かい経験豊かな方々です。ワイズのメンバーと共にウクライナの方も誘い、一緒に楽しみたいと思っています。中村さんもウクライナの方々の参加を大歓迎で、辛い思いを心に秘めて日本で避難生活を送っている方々が、日本の日常生活の中で少しでも心を休めて頂きたいと思っています。(2023年4月14日)

4月本例会

日時：4月28日(金) 17:30~
 場所：かけはし都筑
 司会：横田孝久 受付：坂口直樹

= プログラム =

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・信条 一同
3. 今月の聖句と祈祷 相賀C
4. 会長挨拶
5. ゲスト・ヴィジター紹介
6. 卓話 川越正孝さん
 テーマ:がんの全ゲノム解析
7. 協議・報告事項
8. YMCA報告 鴨下館長
9. Happy Birthday
 9日:鈴木恭子さん
 17日:福島佐世子さん
10. アピール・スマイル
11. 閉会点鐘 会長



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《例会報告》

2023年3月度本例会

辻 剛 記

日時：3月24日（金）17:30~19:30

場所：かけはし都筑

出席者：相賀、今城T・H、鈴木S・K、辻TS・TA、横田、
岡田、鴨下、大野、坂口

ゲスト：小林 保氏、高松満至氏

ヴィジター川口知幸氏（厚木クラブ）（合計15名）

司会：鈴木 茂 受付：辻 剛

議事次第

1. 開会点鐘：今城高之会長
2. ワイズソング・ワイズの信条： 一同
3. 今月の聖句と祈祷： 相賀 昇チャプレン
(ルカ福音書9. 24-25)
4. 会長挨拶： 今城高之会長
5. ゲスト・ビジターの紹介：今城会長より、本日の卓話者・小林保さん、厚木クラブの川口知幸さんおよび高松満至さんの紹介があった。
6. 卓話：小林 保さん
テーマ：『ブリューゲルとフェルメール』～ネーデルランド
絵画の寓意（アレゴリー）～
 - ・ペーテル・ブリューゲル（1525年？～1569年）は農民画家、風景画家（代表作：「盲人の寓話（たとえ）」（1568年）、「ベツレヘムの人口調査」（1566年）、「ベツレヘムの幼児虐殺」（1565年）、「バベルの塔」（1563年）、「雪中の狩人」（1565年）等）
 - ・ヨハネス・フェルメール（1632年～1675年）は肖像画家と、風俗画家ともいわれている。（代表作；「マルタとマリアの家のキリスト」（1654年）、「聖ブラクセティス」（1665年）、「牛乳を注ぐ女」（1658年）、「信仰のアレゴリー」（1670年）、「天文学者」（1668年）等）
 - ・2人の著名な画家がその代表的作品に込めた様々な意図、特に、活躍した時代背景にまつわる興味深い、詳細な推測を伺った。
 - ・2人の画家が活躍したネーデルランドとは現在のベルギー、オランダ、ルクセンブルグで1559年以降スペインの植民地であり、スペイン国王フェリペ2世即位（1556年）後、カルバン派による偶像破壊運動（1566年）、アルバ公によるプロテスタント弾圧（1567年）、プロテスタントの反乱を機にオランダ独立戦争の始まり（80年戦争）（1568年）、

ネーデルランド北部7州の実質独立（1581年）といった時代背景。

- ・画家は語らない。絵に込められた画家の意図は鑑賞者がくみ取るもの。
- ・二人の画家についても活躍した時代背景を理解することも重要。なぜならば彼らはそれぞれの時代の中で自分の考えを描いたり、時代の権力者に対するメッセージとして描いているから。

7. 協議・報告事項

- (1) 今城会長：①卓話者予定：4月川越正孝氏／「がんのゲノム検査のついて」、5月「北Y・つるみクラブ・つづきクラブの交流会」、6月未定、②横浜YMCA国際事業委員会主催オンライン勉強会「若年女性の支援を考える」（日時：2023年3月28日（火）19:00～20:30）
- (2) 鈴木茂氏：東日本区のトルコ・シリア大地震緊急支援募金にクラブとして対応してはどうか。（辻TSUも共同提案）。全員の承認を得てスマイルを実施してそれをベースに献金することとした。

8. YMCA報告：鴨下館長

- (1) 横浜YMCA主催チャリティーゴルフは3月3日実施され115名の参加があった。役70万円超の献金に恵まれた。当クラブから鈴木S、大野、鴨下各氏が参加。
- (2) 横浜YMCAの国際地域協力募金は今年度の目標は50万円だったが北Y祭り、YOU&Iコンサート等々により目標達成できた。感謝。
- (3) 5月の懇親会の件（前出）

9. Happy Birthday：相賀 昇さん（3/22）、
辻 孝子さん（3/31）

10. アピール・スマイル：①スマイル：トルコ・シリア大地震の募金のために実施。

11. 会長の点鐘で閉会。



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

北 Y 便り

北YMCA館長 鴨下 純久



WBCでの日本代表の活躍は大いに盛り上がりを見せました。日本代表は、決勝戦でアメリカに勝ち、見事優勝を収めました。その中で大谷選手の人気と注目度の高さには驚かされました。超一流と言われたイチロー選手がメジャーリーグへ移った直後の大谷選手のことを「彼は今まで見たことのないスーパースターですよ。ものすごい結果を残すと思いますよ。」とテレビで言っている場面を思い出します。すでにその通りになっていますが、メジャーリーグへ行ってから、さらにパワーアップして、その凄さに磨きをかけているように感じています。これからどんな記録を生み出していくのか楽しみです。

さて、横浜北YMCAの暦はワイズメンズクラブと異なり、3月末で年度を締めくり、4月から新たな年度を迎えました。コロナ禍となり3年が経過しましたが、2022年度を振り返りますと感染予防を徹底し、安全に活動できる環境を整え、年間計画として予定していた活動を実施することができました。特にワイズメンズクラブとの協働の中で、3年ぶりに開催した「北Yまつり」と「YOU&コンサート」は、多くの方に足を運んでいただき、素晴らしい行事となったことが印象に残っています。このことは、国際・地域協力募金の目標額500,000円を達成することにもつながりました。一方で夏を過ぎた頃から、電気代やガス代を含め、様々な物の値上げが続く、運営に支障をきたしています。工夫をしながら、電気・ガスの使用量を削減することはできていますが、その費用は昨年度と比較して1.5倍くらいになっています。しばらく

値上げが続くと報道されていますが、安全を確保しながら国としての具体的な対策を示してほしいと願っています。

横浜北YMCAに関わる職員が一同に介し、4月3日にキックオフミーティングを行いました。日本キリスト教団横浜菊名教会の江口裕子牧師より2023年度横浜YMCAの基本聖句である「だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることです。」(コリントの信徒への手紙Ⅱ 8章11節)について説教をしていただき、新年度をスタートしました。今年1年も神様に守られ、豊かな活動ができることを祈っています。引き続き、横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブの皆さまのお力添えをお願いいたします。



2023年度横浜北YMCAキックオフミーティング

《お便り》 東日本大震災以降、私達が繋がりを持ち続けている宮城県山元町の「つばめの杜保育所」の作間さんから、当クラブの窓口を長年続けてくれている辻 剛さんにお手紙が届いたのでご紹介します。地道なコンタクトを続けてくれている辻さんには感謝です。コロナが終息し、再びお訪ねして交わることが出来る日を待っています。

横浜つづきワイズメン&ウイメンズクラブ
辻 剛 様

先日は温かなメッセージありがとうございました。震災から早12年。復興も大分落ち着き、平常な日常生活に戻ったように思われますが、やはり3月11日になると、12年前のあの日の様々な情景が昨日のように目に浮かんできます。今までずっといろいろな支援をしてくださった横浜つづきワイズメン&ウイメンズクラブの皆様に本当に感謝しています。毎月のお誕生カードは、子どもたちにとって楽しみの一つとなっていて、カードを手にとると、毎回笑顔になります。私たち保育士も、毎回素敵な折り紙に感動と「どう折るのかしら?」という疑問と、貰えていいな〜という羨ましさと様々な感情が・・・ 本当にありがとうございます。

そして「今年も…」と仰ってくださる事に感謝・感謝です。

今後ともよろしく願いいたします。コロナは少しずつ落ち着いてきましたが、現在はインフルエンザが大流行し、学級閉鎖にまでなっている状況です。いろいろな感染症が出ている状況ですが、お体にお気をつけてお過ごしください。お礼が遅くなってしまい申し訳ございませんでした。

つばめの杜保育所 作間



山元町はイチゴが有名です。当時、津波で甚大な被害を受けたイチゴ農家にYMCAのボランティアが大勢駆け付け復旧に協力しました。(編集子 注)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《例会報告》

2023年4月度事務例会

今城 宏子 記

日時：2023年4月11日（火）17:00~19:00

@夢カフェ

出席：今城T/H、大野、鴨下、坂口、鈴木K/S、
辻Ta/Ts、横田（10名）

～議事概要～

1. 開会点鐘・黙祷

2. 会長挨拶。突然の夏日など寒暖差が大きい日々、各々体調に気を付けるよう。
また、長く欠席中のメンバー、休会中の方々の近況について報告された。

3. 審議・検討事項

- 1) 2023年You & I コンサートについて
- ・開催日が11月18日（土）になったことを確認。
 - ・出演は、引き続き横浜室内合奏団・歌劇団（代表：佐藤大祐先生）をお願いすることを決定。運営委員会のメンバーに周知する。
 - ・運営委員会メンバーに「えだ福祉ホーム」に加わって頂けないか今城Tより打診する。
 - ・社協助成金申請時に提出する予算書に記載する、チケットの種類・チケット代について協議を行った。結果、一般：1,000円 障がい児・者500円（付き添い1名は無料）、中学生以下は無料とする。
- 2) 4月本例会（4/28）の卓話について
卓話者：川越正孝さん
演題：癌の全ゲノム解析（癌ゲノム医療、全ゲノ

ム解析、臨床活用、適切な薬剤選択他）

分かりやすくお話し頂くよう、願います。

- 3) 5月度本例会（5/26）後の3団体交流会について、以下の時間配分で行うことを確認した。
現地集合：17:00、本例会：17:15～
交流会：18:15～20:30 @敦煌
5月事務例会にて出欠を確認する。

4. YMCA報告（鴨下北Y館長から）

- 1) 4/9イースター礼拝において、北Yの森山さんが受洗された！
2) 維持会費の納入お願い。
3) 6/2～6/5開催の東日本区大会出席確認。鈴木茂、今城高之両ワイズ及び鴨下担当主事。

5. その他アピール、報告

- ・辻剛ワイズより東本郷ケアプラザに保管中のウクライナの方々に贈った手編み帽子等の残りを近々、引き取りに行く旨、報告された。
ウクライナの方々との今後の交流について意見交換を行った。
- ・6月の卓話を鈴木茂ワイズにお願いした。演題は「YMCA理解」
- ・8月の例会について3年間休止していた「納涼会」とするか、検討する。
- ・TKBカード作りは4/19（水）13:30かから行う。

6. 点鐘をもって閉会。最寄りの中華レストランで会食懇談

以上

《トピックス》

最近盛んにメディアに登場する言葉の一つに“Chat GTP”というのがあります。自然言語処理のための人工知能技術で、大量のテキストデータを学習し、人間のように自然な言葉で会話することができるシステムです。電子辞書や翻訳機として便利に使えますが、テーマ設定をきちっとすれば、論文はおろか小説まで書いてしまうという優れたものです。しかし、使い方を誤れば、様々な弊害の素となることが危惧され、世界中で話題になっています。子供が勉強しなくなるといったことも心配され、使用に制限をつけた国すらあるようです。

実験してみました。Googleの検索画面から無料で使えるチャットを呼び出し、「Y's Men's Clubとは何ですか？」と問いかけてみました。10秒足らずの間に打ち出さ

れた回答が次の通りです。『ワイズメンズクラブとは、YMCAをサポートするボランティアの人々による世界的な奉仕団体です。1922年に米国オハイオ州で誕生して以来世界各国で数々の奉仕活動を展開してきました。日本では1932年6月に日本区が設立され、90年の歴史を誇っています。』問いかけようによっては、もっと詳細な回答が返ってきますが、これとて間違いはなく、私達ワイズメンでも、瞬時にこの答えを出せる人は多くはないかもしれません。

この新しいメディアを人間はこれから如何に活用して行くのでしょうか。今後はプリン作りは全てChat GTPにお任せなんてことにはならないないよう、元となるデータは我々人間が作り機械に教え込むのですから…

(編集子)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《国際協会》 国際協会の機関誌に掲載された国際協会会長ウルリドセン氏のメッセージです。デンマーク出身の氏は、本来、次期国際会長に就任されるはずが、任期半ばにして辞職された前任者の後を継ぐこととなり国際会長に就任されました。普段、我々には余りなじみのない国際組織のリーダーのお顔を最新のIPニュースから紹介します。なお、国際会長通信（IP News）のバックナンバーは次からご覧になれます。

[IP News - ワイズメンズ国際協会 東日本区 \(ys-east.or.jp\)](#)

4月は、RBM（Roll Back Malaria）とWeek4Waste（W4W）の強調月間です。今回は、4月25日の世界マラリアデーを前に、RBM国際サービスディレクターのキム・ヒョングー氏からの特別メッセージをお読みいただけます。

Week4Wasteは、2023年4月17日から24日まで開催されます。例えば、地元の公園やビーチに残されたゴミを拾い集めるミーティングなどです。毎年4月22日に開催されるアースデイにちなんで「Great Global Clean Up」を通じて、イベントのコーディネートと広報を行うことを検討してください。

数ヶ月に及ぶ綿密な計画の後、先月、600人以上の参加者が台北に集まり、創立100周年を祝いました。YMI 100は、親睦と食事、そして未来へのインスピレーションに満ちた、楽しい数日間でした。この歴史的なイベントから、ハイライトビデオへのリンクと多くの素晴らしい写真が掲載されています。本誌をお楽しみください！

国際会長 ウルリック・ウルリドセン



2022-23年度の東日本区大会参加申し込み受付中！ 奮ってご参加ください。

登録申し込み開始しました

かふふ・く

「あなたの置き忘れたものを、取りにきてください」

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

第26回東日本区大会

2023年6月3日（土）4日（日）

会場：APIO 甲府（山梨県・甲府エリア）

http://kofu21.com/taikai_26/



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《4月本例会卓話者紹介》

卓話者：川越 正孝さん
演題：「がんの全ゲノム解析」



～目次～

- 第一章 がんゲノム医療
- 第二章 全ゲノム解析
- 第三章 全ゲノム解析の臨床活用
- 第四章 適切な薬剤選択
- 第五章 二次的初見

～卓話者略歴～

学歴

1971年3月 九州大学 理学部卒
1973年3月 九州大学大学院 修士課程修了
1973年-1974年 千葉大学 薬学部研究生

職歴

医薬品、医療機器、在宅事業、臨床検査事業における製造管理、品質保証、業務監査、ISO確立、ISO監査、CAP認定等に関わる主たる業務

・医薬品開発研究 4年

1973年4月 帝人株式会社 入社
1973年 中央研究所、医薬品開発。薬物代謝

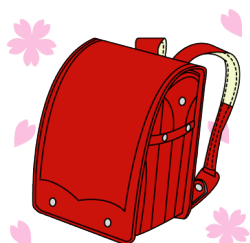
・臨床検査事業 21年

1977年-1978 米BIO SCIENCE LABORATORIES. (臨床検査センター) in Los Angeles, California, USA、臨床検査技師としてトレーニング

1979年 Teijin- Bioscience 設立
1993年 羽村検査所責任者：CAP取得、TQC活動、TPM活動
・医療機器の製造管理、輸入管理責任者、品質保証責任者 16年
1998年 東京本社：医療機器・輸入管理責任者、2001年 医療岩国製造所：医療機器・輸入管理責任者、ISO9001、2007年版に更新、2002年 海外製造所監査、Essex (USA) Smith& Nephew(USA)、ResMed (Australia) 、Respironics (Australia) 他、帝人定年退職
・臨床検査 College of American Pathologist (CAP)日本事務室 CGIKK 10年
2014年 CAP認定取得、維持管理支援、ISO15189認定取得支援
2023年 現在に至る



(4月のバースデーカード)



(3月のデータ)

例会出席	15名	在籍会員数	16名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	12名	月間出席者数	13名	スマイル	15,000円	45,000円
ビジター	1名	メキップ	1名	—	—	—
ゲスト	2名	月間出席率	81%	—	—	—

▽春の深まりを感じるこの頃です。ソメイヨシノも終わり、八重桜が重そうに咲いています。チューリップも満開で、TKBのバースデーカードにもチューリップが飾られました(左の写真)▽今年度は、今月を入れて残り3カ月となりました。5月には、恒例の北YMCA、つるみクラブとの三者交流会があり、それで今年度のイベントも終わりです。そうこうしている内に秋に予定しているYOU & Iコンサートの準備も始まります▽6月には甲府での区大会があります。今城会長、鈴木次期副会長、鴨下担当主事の参加が決まっています。楽しい集まりになることを願っています。▽某日、会長他役員二名は秋のコンサートに関する支援金を求めて社協を訪ねましたが、帰路、例会後の懇親会会場を探してセンター南駅周辺の飲食店6、7店を巡りました。「帯に短し、たすきに長し」の格言そのまま、ここぞといったお店には巡り合えませんでした。幾つかの候補店を心に留めてミッションを終えました。何店かでの試食試飲を重ねた結果、結構フラフラでの帰宅となったことをご報告させていただきます。(編集子)

★★★編集後記★★★

“To acknowledge the duty that accompanies every right”